

# コミュニティ・スクールによる学校の活性化

～教職員の参画をめざして～

【光市 浅江中学校区】

## 地域の概要

浅江地域では、浅江公民館を拠点とした浅江コミュニティ協議会の福祉部、文化部、青少年部等の各部の活動、中学校及び小学校のコミュニティ・スクール（以降CSとする）の運営等が融合し様々な行事や活動を行っています。そのことが地域活動を豊かにし、人と人との絆を深め、里山整備、潮音寺山まつり、地域の固有種ニジガハマギクの栽培等、創造的な取組を通して、地域の方や子どもたちが主役となって活躍する機運が高まっているところです。

人 口	15,053 人	
世 帯 数	6,695 世帯	
対象校及び 児童生徒数	浅江中学校	335 人
	浅江小学校	748 人

## 組織の内容

本地区においては、中学校は平成 21 年度、小学校は平成 26 年度からCSがスタートしました。小学校では、CSの組織と校務分掌を、中学校では、CSの組織と研修組織をリンクさせることにより、全ての教職員がCSに参画できる仕組みになっています。また、9年間の学びをつないでいくために学校間で各部会もリンクさせています。本年度は主体的に研修会を行う各部の活動を通して、小中連携が一層強化されました。このことは「地域協育ネット」の充実ともいえます。さらに、小学校では、PTAの組織とCSの部会をリンクさせ、保護者の参画や意見の反映をめざしています。

### 【浅江小学校】

### 【浅江中学校】

PTA組織	校務分掌	CS部会		CS部会	研修の組織
総務部、事業部	教務部	生活力部会	⇔	心の教育部会	徳の部会
総務部、学年部	研修部	学ぶ力部会		学力向上部会	知の部会
総務部、保体部	保健体育部	健康力部会		体づくり部会	体の部会
総務部、広報部、環境部	生徒指導部	安全力部会		※生徒指導部（校務分掌）	

## 特色・重点的な取組

### 参画意識を高めるためのシステム

- ①校内4部会（教職員）・・・企画案の作成（学校の視点）
- ②CS部会（教員と保護者）・・・企画案の検討（保護者の視点）
- ③CS企画委員会（企画委員）・・・企画の実行性の向上（地域の視点）
- ④学校運営協議会（運営委員）・・・企画の承認（事業スタート）

### 地域の方が活動できる場づくり

- ・中学校…ALTと地域の方との「ふれあい英会話教室」、「あさなえルーム」での地域の方の会議
- ・小学校…読み聞かせ、紙芝居、竹工作等のふれあい活動

### 小中連携の推進

- ・定例会4回、企画委員会3回、合同研修会3回、年間を通して実施
- ・合同授業研究・協議、相互乗り入れ授業、中学校での小学校6年生対象の授業（小・中教員のTT）
- ・清掃や算数教室、陸上、水泳等の交流活動

## 主な活動の紹介

「ラジオ体操をもっと盛んに」という地域の声を受けて新規採用3年目の教員が「企画書」をつくり、実現に向けて活躍しました。

提案元、新規・継続・充実、主催等を示す

### ふれあいラジオ体操についての企画書

C提案 新規 共催

健康力部会

#### 1 主旨

- ・ラジオ体操を通じて、地域の方々との交流を深めながら、心身の健康力を高めていけるようにする。
- ・地域の方々との交流を深め、地域で行われているラジオ体操に積極的に参加しようとする意欲を高められるようにする。

#### 2 概要

- |          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| (1) 日 時  | 8月2日(土) 6:30~                   |
| (2) 場 所  | 浅江小学校運動場                        |
| (3) 対 象  | 1~6年の希望者、保護者、地域の方々              |
| (4) 活動内容 | 全校児童の希望者や保護者、地域の方々と一緒にラジオ体操をする。 |

#### 3 留意事項

- ・指導者は浅江小学校教員
- ・業間体育でラジオ体操の練習をする。(6/25 水曜日 実施済)
- ・朝の時間のラジオ体操を各クラスで行うように奨励する。
- ・ラジオ体操のポイントなどを掲示する。
- ・児童の安全確保のため、保護者同伴を原則とする。
- ・持参物(タオル、お茶)

マネジメントをつなぐための方策を示す

#### 4 次の一手

- ・ラジオ体操後に何か子どもたちと地域の方々とがふれあえるようなよい活動がないか。
- 【20日に行われたCS部会で出た案】
  - ・簡単なレクリエーション(長縄やじゃんけん列車など)
  - ・参加者をできるだけ集めるために何かできないか。
- 【20日に行われたCS部会で出た案】
  - ・ひかるちゃんを呼んで一緒にラジオ体操をする。

【地域】「ラジオ体操を盛んに」という声

【教職員】健康力部会で企画案作成

【企画委員会】

提案された企画書を元に企画委員で検討

【企画委員・教職員】

ポスター作成

学校・地域の方への

PR活動

- ・公民館報への掲載
- ・商店街への掲示依頼



【当日】

参加者 200  
名がラジオ  
体操で心地  
のよい汗を  
流し、レクリ



エーションでふれあいました。「日頃子どもたちとあまりふれあう機会がないので、とても楽しい時間になりました」という声も聞かれ、地域貢献にもつながっていると感じました。

推進協力校区  
の取組

## 成果と課題

教職員が、CSの活動に直接かかわることにより、OJTとして企画、調整、交渉等のマネジメント経験のよい機会となり、地域の方とのかかわり合いを広げ、深めようとする教職員の意識の醸成にもつながってきています。こうしたつながりの増幅により、教職員、保護者や子どもが地域行事に参加したり、地域の方とあいさつや会話をしたりするなどの場面が増え、互いに豊かな心を育み合い、やりがいをもつなど効果が現れ始めています。

一方で、CSにPTA活動を融合させていく仕組みづくりを工夫し、保護者の参画意識を高めていくことが今後の課題です。

## 今後の取組

現在、中学校の多目的スペースを活用してALTと地域の方との「ふれあい英会話教室」や小学校のビオトープエリアでのボランティアによる竹工作や紙芝居など、人々が集う活動を開始したところです。今後、学校という場が「集う・学ぶ・ふれあう」第二の公民館的な役割を果たすよう取組を広げていきたいと思ひます。